

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	産業振興課		
	係名	商工振興係		
	記入者		電話(内線)	217

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	本場結城紬振興事業			(3) 事業の 優先度	A		
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体		市				
① 事業の区分	主要事業		(7) 予算・ 財源等 の種別			事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	35202	(総合計画掲載ページ - ページ)				会計区分	一般会計			
基本目標(政策)	3	歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)				財源区分	市単独			
基本施策	5	つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興(伝統産業)				予算科目	款 7	項 1	目 3	
施策	伝統産業の振興					予算書上の	本場結城紬振興事業			
施策内容	本場結城紬のPR					事業名称	(予算書 128 ページに掲載)			
(5) 事業期間	開始		年	月から	(8) 事務分類					
	終了		年	月まで (力年)	根拠法令					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)	
結城紬産業従事者及び一般市民・観光客等	本市の地域資源である「本場結城紬」を活用し、観光施策と結び付けた振興を図る。そのため、機織り実演事業やきもの貸出事業により、市民や観光客が気軽に本場結城紬に触れられる機会を提供することで、本場結城紬の活性化をめざす。	
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	
本市の伝統産業である結城紬を活用した次の事業を行う。 ①駅前の観光物産センターにおいて、観光客等へ向けた結城紬の機織り実演及び結城紬に関する説明業務を委託。 ②市民や観光客を対象にした結城紬の貸出業務を委託。 ③結城紬きものを貸し出すための着物仕立て・管理・貸出。	きもの需用の低下や後継者問題により、本場結城紬の生産反数が減少しているなか、平成21年度に国県補助を活用し「結城織音館」にて機織り実演を開始。また、結城紬きもの貸出事業を開始し、市所有のきもの等は「きものday結城」で活用している。ユネスコ無形文化遺産登録以降、小山市では一般市民への結城紬貸出を実施している。	
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	きもの貸出は本市のPRと産地活性化を条件としていたため積極的な申請は少なく、市のイベントやPR等での使用が大きく占めていた。着用者からは好評を得ており「きものday結城」をはじめとして、より多くの人に着心地を体験してもらえるよう着物等の整備が求められている。平成25年には、市内中学生が着付けを体験する「紬のふるさと体験授業」を実施したが、生徒数に応じた枚数が用意できず「すべての生徒が本場結城紬の着心地を体験できるようにしてほしい」という意見もあった。市では、茨城県工業技術センター繊維工業指導所研修生への原材料支給により得た反物・機織り実演事業での成果反物等を活用し、きものの枚数を増やしている。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映			
実施計画									
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）			
事業内容		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度			
（１）事務事業費	報償費	0	125						
	需用費	236	157						
	役務費	167	711						
	委託料	3,160	3,292						
	備品購入費	616	411						
	合計	4,179	4,696						
	財源	国庫支出金（千円）							
		県支出金（千円）							
地方債（千円）									
その他特定財源（千円）									
一般財源（千円）		4,179	4,696						
合計（千円）		4,179	4,696						
補助・起債制度名									

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）								
指標の名称			単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	きもの貸出件数	目標値	枚		40	50	60	70
		実績(見込)値		31	40			
		目標値						
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	本場結城紬生産反数(検査反数)	目標値	反		1,400	1,400	1,500	1,500
		実績(見込)値		1,396	1,400	1,400	1,400	1,400
		達成率		93.1 %	93.3 %			
		目標値	人					
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			
5. 事業評価								
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 本市PRのため、結城駅前の観光物産センターにて結城紬の機織実演事業を開始した。								
(2) 項目別評価								
評価項目・客観的評価				理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	本場結城紬の生産反数は年々減少しており、本市を代表する伝統産業を保持していくために、産業の振興を図る。				
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	民間が行うべき事業と言えるが、結城紬は本市の代名詞であり、ユネスコ無形文化遺産と世界が守るべきと認めたものであることから、行政が行うのは妥当である。				
	手段の妥当性	A	妥当である	機織り実演、着物仕立て委託については専門業者及び団体に委託している。				
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	きもの貸出業務については、専門団体に委託することにより事務効率を図る予定。				
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	広く一般市民・観光客へ結城紬に触れる機会を提供できている。				
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	多くのPR事業を展開しているが、結城紬産業の活性化に目に見える効果は得られていない。				
進捗度	事業の進捗	A	順調である	きもの貸出事業は着付けボランティア団体(ゆうき着楽会)への委託にむけて、準備を進めている。				
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 本場結城紬の生産規模は減少する一途であり、これまでも市では販路拡大のための求評宣伝事業や技術保持のための研修事業等を支援してきた。しかし、消費者のきもの需要に伸びが見られない限り、生産反数の回復には至らないことから、本場結城紬の魅力を発信し、より多くの人に関心を持ってもらうような事業展開が必要である。広報・宣伝方法等を含め、外部への情報発信が大きな課題である。								
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ 本市の観光産業のひとつとして積極的にPRしていけるように、観光施策と組み合わせながら、結城紬実演の見学やきもの貸出などの受け入れ体制を強化していくことが求められる。 平成26年度に機織り実演事業を開始し、平成27年度に一般向けの結城紬きもの貸出事業の開始を予定している。実施主体の団体については、着付け技術の向上など、育成が必要と考えられる。								
6. 事業の方向性判断								
評価主体		27年度以降の事業の方向性		評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)		注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)		本場結城紬の情報発信とPRのため、結城紬実演の見学やきもの貸出などの事業を展開しているが、平成27年度から、受け入れ体制を強化し組織化したところである。今後は、着ごち体験などの事業を実施するほか、駅前を拠点とした場所での事業展開を進めていきたい。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う				上記評価のとおり。				